



# ユニバーサル・ラン

## 義足アスリートによる陸上教室



LIXILは「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」に向けて、多様化する顧客ニーズに応え、年齢、性別、障がいの有無などを問わず、すべての人びとの健康で快適な暮らしを支えることを目指しています。

誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン (UD) を組み込んだ水まわり製品・住宅建材やサービスの開発および提供のほか、ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) を推進する啓発活動にも取り組んでいます。

活動の一つとして、スポーツを通じて多様性を学ぶ体験授業「ユニバーサル・ラン」を実施しています。これは、子どもたちが自分とは違う他者を思いやり、配慮できる心を育むことを目的としています。

授業では、講師のパラアスリートとの交流やスポーツの体験を通じて、義足を使いこなすアスリートの身体能力や努力を実感することができるほか、障がいのある当事者の経験談に触れていただきながら、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、子どもたちが自分ごととして考える機会となっています。

写真左：山下千絵選手／陸上競技短距離／SMBC日興証券所属

写真右上：大島健吾選手／陸上競技短距離／名古屋学院大学所属

写真右下：池田樹生選手／陸上競技短距離／Hakuhodo DY ONE 所属

対象 小学校4・5・6年生

関連する  
教科 総合学習の時間、  
道徳、国語、社会、体育

ねらい 年齢、性別、国籍、  
障がいの有無などの  
多様性に関する  
理解を深める。



リイちゃん

● 体験・実技

- ・アスリートの紹介
- ・義足や障がいについての説明
- ・準備体操
- ・陸上教室

● 座学

- ・「多様性って何だろう？」を考える
- ・共生社会に向けて、みんなにいい暮らしを考える
- ・グループディスカッション

※上記は1クラスで実施の場合。1日の最大実施可能数は4クラスとなります。

授業形式・講義資料



講義では義足について学んだり、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、みんなが暮らしやすい社会について考えます。

授業を受けた子どもの感想

- 義足を使いこなす選手ってすごい！努力の大切さを知った
- 自分には当たり前なことも、障がいのある人からすると人によって当たり前じゃないことがたくさんあることに気付いた
- 明るく楽しそうに夢を話す先生を見て、自分も簡単にあきらめずに頑張ろうと思った
- 走るのが苦手だったけど楽しくできました

先生の感想

- 子どもたちが、様々な立場の人の存在を、自然な形で受け入れるようになった
- 子どもたちに、障がいのある人への偏見がなくなった
- 子どもたちの目の輝きが違った
- これまで総合学習で学んできた福祉のテーマとつながり、理解が深まった

講師を務めるアスリートからのメッセージ

- 夢の大切さ、パラスポーツの魅力を伝え、子どもたちの障がい者に対する意識や考え方を変えたい
- 義足になって初めて知る世界がありました。この授業をきっかけに、子どもたちにもいろんな世界を見て、知って、そして自分の世界を広げてほしい
- 義足の人もそうでない人も、一緒にスポーツをする時間を過ごしながら、世の中にはいろんな人がいて、それも普通なんだってことを感じられる機会であってほしい

